

対象事業の名称：茅ヶ崎警察署新築工事

● 環境配慮検討書の概要

事業の概要	事業の種類	建築物の建設（第3種事業）
	計画内容	位置：茅ヶ崎市茅ヶ崎三丁目994-1の一部 構造：RC造地上4階 高さ約19.9m 延床面積約4,480㎡
	目的	本地域は地震防災対策強化地域に指定されているが、現在の警察署はH9に耐震補強工事を実施しているものの既に築後52年が経過し老朽化が著しく、施設の狭隘の状況が著しいことから建替を計画した。
	計画地の選定理由	JR東日本茅ヶ崎駅から北北西約800mに位置し、県道45号線に面しており、利便性が良いため、当該地を選定した。
環境配慮の内容	自然・社会環境的要素	
	植物・動物・生態系	
	緑の保全 又は緑化	郷土種、在来種など景観に合った樹種・高さの選定及び道路に面して緑化を行い、県有施設の緑地確保に関する実施要綱等に基づく緑化率・緑地面積を確保する。
	景観	本計画地は茅ヶ崎駅北口周辺特別景観まちづくり地区にあるため、白を基調とした外観にするなど当該地区の景観形成基準の規定に基づく景観計画とする。市の景観審議会に諮り、景観計画の助言を反映する。
	文化財	
	日照阻害	
	公害防止的要素	
	大気汚染	工事中における建設機械は排出ガス対策型を使用し、土工事時の粉塵については散水等で対策する。発生土運搬、生コン、材料搬出入での車両の待機スペースを場内に設けて敷地外での駐停車を排除し、アイドリングストップと空ふかし禁止を原則とする。
	土壌汚染	発生土搬出前に受入地指定の地質分析を実施する。なお土壌汚染が判明した場合は適切な処理を講じる。
	騒音	工事中は敷地周囲に万能鋼板による仮囲いを設置する。工事中における建設機械は低騒音・低振動型を使用する。空調・給湯熱源の室外機には騒音計算を元に防音壁の採用を検討する。
振動	工事中における建設機械は低騒音・低振動型を使用する。基礎工事は地盤の状況から杭工事を要するが振動等に配慮した工法及び機械の選定を行う。空調・給湯熱源の室外機には防振架台を設置し振動の低減を図る。	
防災・安全確保的要素		
交通		

容	渋滞	
	安全	工事中には適正な適正な人数の交通整備員をゲート付近に配置し、歩行者の安全に配慮する。
	地震対策	建築基準法・同施行令・構造計算指針及び建築学会各計算基準等に準拠する。
地球規模等の環境要素		
	省資源	工事現場で使用する資機材は県土整備局公共事業グリーン調達基準に準拠し、再生材など環境負荷の低減に資するものの調達に努める。県グリーン購入基本方針に準拠し、環境負荷の少ない商品の調達に努める。
	省エネルギー	「工場等におけるエネルギーの使用の合理化に関する事業者の判断基準」の「新設に当たっての措置」に準じて設備の導入などを検討する。太陽光パネルを設置する。
	温暖化防止	「工場等におけるエネルギーの使用の合理化に関する事業者の判断基準」の「新設に当たっての措置」に準じて設備の導入などを検討する。
	水循環	雨水は敷地内に雨水貯留浸透槽を設けて処理する。敷地内に緑地帯を設けて敷地内浸透の計画とする。
	廃棄物	廃棄物処理法及び建設リサイクル法などに基づき、建設廃棄物の分別処理、再資源化に努める。
	発生土	建設発生土は可能な限り埋め戻し等で再生利用し、工事間流用などを行うが、再生利用できない発生土については指定処分いより適切な処理を行う。

● 審議結果通知書及び措置状況報告書の概要

通 知 事 項	措 置 状 況
<p>1 環境配慮の内容等について見直しが必要と認められる事項 なし</p> <p>2 基本計画の策定にあたり考慮すべき事項 「省エネルギー」「温暖化防止」について 「工場等におけるエネルギーの使用の合理化に関する事業者の判断の基準」の新設に当たっての措置に準じた設備の導入に努めること。</p> <p>3 その他 駐車場について透水性舗装を検討すること。</p>	<p>照明器具にLEDを導入し、太陽光発電設備を設置する計画としている。</p> <p>駐車場を透水性舗装にする計画としている</p>